

地名について調べる

地名の読み方や由来について調べるときに便利な資料を紹介します。

() 中の数字は請求記号です。Rは辞典など(貸出禁止)、Hは郷土資料のコーナーです。

<図書館にしている場所>

210—日本史

216.3—大阪府の歴史

291—日本の地理・地誌・紀行

291.63—大阪の地理

1. 地名の読み方を調べる

『日本地名大事典 上・下』 吉田茂樹：著 新人物往来社：発行 2004年 (R291.033)

『大阪難読地名がわかる本』 創元社：発行 2003年 (H291.018)

読解テストと解答編に分かれ、駅名や神社・寺院・峠・橋の名ものせている。「消えた難読地名」もある。

2. 枚方の地名について調べる

『枚方市史』第2巻 枚方市史編纂委員会：編 枚方市：発行 (H216.3)

「枚方」の地名がいつから発生したかは明らかでないが、『日本書紀』の中の近江臣毛野おうみのおみけの妻の詠んだ歌の中には「比羅ひらかた駈か」と記されている。江戸時代には「枚方」と書いて「ひらかた」と読んでいたようである。

『枚方市史』 寺嶋宗一郎：著 枚方市：発行 (H216.3)

『角川日本地名大辞典 27 大阪府』 角川書店：発行 1983年 (R291.033)

古代から現代の地名とその由来がわかる。町名だけでなく山や川、街道、公園名でも探せる。市町村の合併などの沿革も載せている。

『日本歴史地名大系 28 大阪府の地名 2』 平凡社：発行 1986年 (R291.03)

はじめに河内国全体の歴史を概観し、枚方の村、寺や古墳の説明も載せている。

『大阪の地名由来辞典』 堀田暁生：編 東京堂出版：発行 2010年 (H291.63)

大阪府内の33市9町1村の地名の由来がわかる。住居表示として現在使用されている地名が、50音順に並んでいる。

『大阪府全誌 巻之四』 井上正雄：著 清文堂出版：発行 1975年 (H216.3)

大正11年刊の復刻。全7巻のうち、この第4巻の第3篇第3節が北河内郡の記述になっている。枚方町、川越村など合併前の町村の歴史について書かれている。

『大阪伝承地誌集成』 三善貞司：編著 清文堂出版：発行 2008年 (R291.63)

市町村別にまとめ、寺社縁起・遺跡・墓・碑・人物・地名・伝説・民話などを採集している。

3. 雑誌で調べる

「まんだ」 創刊号(1977年)～88号(2006年)

「北河内とその周辺の地域文化誌」で、地域史や人物誌、紀行などの記事が満載。『「まんだ」総目次』には「紀行」「地名考」などの分野別の一覧表がある。「地名考」で見ると、枚方市内の地名の由来などが「まんだ」の何号・何ページに掲載されているかがわかる。

まんだ(茨田)は古くからの北河内一帯の総称で『播磨風土記』には「河内国茨田郡の枚方の里」とでてくる。

『和名抄』では「万牟多」と書いてあり、湿原・湿地帯という意味を持つ。淀川の南側の沿岸にたくさんの湿原地があり、広い範囲を茨田と言った。(「まんだ」創刊号より)

4. 広報ひらかた

「広報ひらかた」の平成28年1月号から「おしえてひこぼしくん 枚方の地名」を連載。

こちらもごらんください。

《お問合せ先》

枚方市立中央図書館 参考資料室

☎573-1159 枚方市車塚2丁目1-1

MAIL : toshokan5-1@city.hirakata.osaka.jp

TEL : 050-7105-8151

FAX : 050-7105-8152

「パスファインダー」とは、「道(path)」を「見つける人(finder)」という意味で、知りたいことを調べるのにどのように資料を探したらよいかを示す手引きのことです。